

東日本への道

これは、前橋育英高等学校女子ソフトボール部が東日本高等学校ソフトボール大会へ初出場するまでの永い本当に永～～～道のりの物語？である。

今まで何度もそのチャンスを得ながら達成することが出来なかった。

群馬県高等学校新人ソフトボール大会（いわゆる新人戦）は優勝校に全国高等学校選抜大会への出場権が、さらに、準優勝と三位には東日本高等学校ソフトボール大会への出場権が与えられる。優勝・準優勝は1校ずつだが、三位の学校は2校ある。例年なら3位決定戦を行い、そこに勝ったチームが東日本へ行けるわけだ。

育英は過去にこの三決で5回のチャンスがあったが、ことごとく負けてきた。よって東日本出場は非常に遠～～～道のりであった。

ある時は太田商業に、またあるときは利根商業に苦杯をなめた。

じゃあ今年はどうやく三決で勝ったのか？！いやいや、そうではない、じゃあ何故？それは、また後でのお楽しみということで。とりあえず、出られることに感謝というか本当に嬉しい限りです。

新人戦はいつも10月終わりか11月から始まる。10/28の県民の日から始まることもあれば、11/3の文化の日から始まることもある。県総体以外の大会は土・日から始まったら次の土曜日、というように3日間で行われる。

今回は11/3のたまたま土曜から始まった。日程は11月3・10・11日の土・土・日であった。しかし、その土曜から土・日のあいだに修学旅行も入り、タイトなスケジュールでもあった。そういえば、過去にも修学旅行と大会の日程が重なり修学旅行へ行かなかった学年もあったなあ（>_<）。

新人戦の抽選会は10/5だった。

このところ抽選会にどの服装で、何時に会場に着いて、どこに座って、いつ引くか……。とか考えていたが、今回はくじを引かずに済んだ。それは、その前の夏季大会においてベスト4に入り、シード権を得ていたからだ。そういえば、この夏季大会のシード決めの試合もしびれたねえ。相手は高崎商業だったけど、終わってみれば9 - 8。点の取り合いで、見ている方は面白いかもしれないが、やってる方はドキドキだよ。さらには、夏季の予選リーグの太田商業戦も2 - 2の引き分け（ありゃ勝てた試合だろ）。

野球は 2 アウトからっていうけど、ソフトだって やってみなけりゃ わからないし、最後の最後に何があるか分からないから。館林女子戦だってやっと勝ったんだから(^^)

最後の最後っていえば、昔 健大戦で 7 回 2 アウト 1 - 0 ランナー二塁からセンターフライで勝ったと思った瞬間、ボールが……。延長の末負けたこともあったなあ。

そんで、なんだっけ？あーあシード権の話しか。そうそう、夏季大会の高商戦だよ。

育英先攻 初回ヒット 2 本であっさり 1 点とってさ。

その裏高商は 2 アウトから四球その後、4 番にセンターオーバーの 2 B ヒットで同点。さらにワイルドピッチとパスボールで逆転。あーあ、またミスばかり。

二回は双方ともランナーを出す、0 点。

三回 育英 エラーと長短打合わせて 3 点取って逆転 4 - 2。しめしめ。

裏 高商 3 番ヒット 0 アウトランナー一塁、次は 4 番だから外野は定位置よりかなり後。そこに盗塁と悪送球で一気にランナー 3 塁へ、4 番にインコースを攻めるが、前進守備で、なんとかセンター前に運ばれ 4 - 3。

四回はお互いに 1 点ずつとり 5 - 4。

五回 育英 先頭打者をデットボールでランナー出すも、点は入らず。

裏 高商 レフト前かなと思ったらヒットとエラーでそのままホームイン 5 - 5。続く、代打に内野安打、盗塁、送りバントで 1 アウトランナー 3 塁。9 番は投ゴロでホームアウトにするが、そのランナーに盗塁で、2 アウトランナー二塁。内野のエラーで 2 点目となり 5 - 6 と再度逆転される。

六回 いつもならここら辺で力つきてしまうのだが、あの時は違ったなあ(^^)

先頭打者 ヒット、続く 9 番はバスターから内野安打、1 番は前の打席に HR を打っていて絶好調で 2 B ヒットでまず同点 6 - 6 でなおも 0 アウト 2・3 塁。2 番はライト前で逆転 7 - 6、3 番の犠牲フライで 1 点なお、送球が乱れ、9 - 6。この回なんと 4 点取った。

裏 高商 三者凡退。

最終回 育英 三人ともフライを打ち上げ こちらも三者凡退、ちょっとイヤな流れ、あとは最後の守り、三点あるから大丈夫か？いや まだわからないよ。アウト三つだけ。

裏 先頭打者 ライト前 7 番ショートライナーでおっとゲッツーかと思いきやエラーしかも暴投で一気に大ピンチ 0 アウト 2・3 塁。8 番レフト犠牲フライで 9 - 7 二点差。1 アウトランナー 2 塁。9 番打者 2 ストライク追い込むもライト前へ 9 - 8 一点

差。盗塁、盗塁で1アウト3塁。いつしかけてくるかなあ？ 初球ピックオフで3塁ランナーアウト2アウト、ランナー無し。打者1番 2ストライク早めに追い込んだが、センター前へはじかれる。高商もしぶといなあ。その後すかさず盗塁。2アウトランナー二塁。一打同点。ここで、育英はピッチャーをリエントリーして背番号4に。最後のバッターはライトフライでようやく終了。永い試合だなあ もう 本当に(^^)。

試合って勝ってる時は永く感じるけど、負けてるときは アツという間だよなあ。

という訳で、ベスト4へ。

で、準決勝の相手は予選で対戦した太田商業。予選は2 - 2だから今度こそは・・・。
終わってみれば1 - 11のコールド負け、育英の最悪負けパターン。

で、夏季大会の結果は 太商 健大 育英 清明となる。が準決対戦があるかどうかで第三・第四シードを決めるため 形としては 清明、育英となり、組合せの左上から第一シード太商、右下第二シード健大、左下第三シード清明、右上第四シード育英となった。

シード校以外に注目校は？夏季ベスト8の動向は？ まず、高商は太商ブロックへ。伊商も太商ブロック。健大ブロックは吾妻から前女まで全て女子高。そして、育英ブロックには練習試合でもあまり分が良くない利根商・桐商がいる。

県予選の主な大会はほとんどが、最終日に準決勝・決勝の二試合が予定されている。ってことは県大会を勝ち上げるためには一日二試合を全力でしっかり戦えないとダメなわけで、そーするとピッチャーというのは一日に何球投げるのか？ということになる。

ソフトボールに関わって私(この物語の著者?)もかれこれ15年ほど経ちますが、最初は一日3試合(5試合も)は当たり前前の状況なのだ 非常に理解に苦む。

それでは、新人戦の模様を2回戦(育英の1試合目)から見ていこう。

11/3(土)伊勢崎Cコート 先攻:利根商、後攻:育英

スターティングメンバーを発表します う う うん、うん あ あー。一番ショート・・・。

育英

打順	守	名前	NO
	SS	須藤	8
	1B	波多	10
	CF	磯野	16
	LF	細井	9
	C	手島	23
	2B	吉山	3
	DP	関	12
	RF	井田	4
	3B	桐生	2
FP	P	星田	21

利根商

打順	守	名前	NO
	CF	茂木	6
	1B	佐藤	10
	SS	宮田	13
	P	後藤	17
	2B	宮川	5
	C	青木	2
	3B	堀江	22
	LF	菅野	7
	RF	永井	8

初回 利根商 1番 見逃し。2番 レフト前。3番 サードエラーで1アウト 1・2塁。いきなりピンチで4番 センターフライで2アウト。5番ピッチャー前にセフティーバンドでチェンジ。ふうー。

裏 育英 1番セカンドフライ。2番左中間へエンタイトル2Bで1アウト2塁。3番セカンドゴロで2アウト3塁。そして、4番 カウント3 - 2からレフト線へ2Bヒットで先取点。5番セカンドフライで、チェンジ。これまた ふうー て、感じ。

二回 6番三振1アウト。7番四球、8番送って2アウト2塁、9番三振、チェンジ。

裏 6、7、8番三者凡退。

三回 1番打者 先頭死球 当てられた方も当てた方も痛い、0アウト1塁。2番送り、3、4番凡退。

裏 9番からショートゴロエラーで先頭出塁、1番は進塁打。2番センターフライで2アウト2塁。パスボールでランナー3塁へ、3番バンドを一塁手エラーで二点目、4番センターフライでチェンジ、2 - 0。

四回 そろそろピッチャー交代か?と置いていたら5番 先頭打者四球。6番センターフライで1アウト。7番送って2アウト2塁。8番フルカウントからセンター前へ センターがホームへ ランナーもホームを狙うが好返球でサードへ戻るところを8 - 2 - 5 TO でチェンジ。

裏 良い流れで攻撃をしたいにの三者凡退。

五回 投手交代 #18へ。9番ライトフライ、1番追い込んでからデットボール。アホだなあ。2番は2本目のレフト前へ、1アウト1・2塁、3番送って2アウト2・3塁。ここで4番登場、ショートへのゴロを前でさばかず、センターへ二人返って2 - 2の同点。2アウトランナー1塁。その後 ライト前への2連打で2 - 3となる。

五回裏 先頭が内野安打で出塁、9番が送り、1番のセンターフライをランナー飛び出しゲッツー。非常に流れが悪い。

六回 8番からの攻撃は三者凡退。

裏 2 - 3で負けているので少なくともあと二回の攻めで2点、まず同点へ。2番が2本目のエンタイトル2B。3番がセカンドへ叩いた打球はライトへこれで同点。すかさず盗塁と思いきや2 - 6TOで1アウト、その後二人でチェンジ。

最終回 3 - 3で2番打者から まずファーストゴロで1アウト。3番に粘られライトオーバーの2Bで1アウト2塁、4番を歩かせ1・2塁。5番が送って2アウト2・3塁で一打逆転 6番ファーストフライでチェンジ。ふー あぶねー って感じ。

裏 さよならのチャンス。6番ショートゴロで1アウト。7番三振で2アウト。8番 代打を出そうか？一瞬考えた。でもとりあえず、打たせるかと思ったらセカンドの横を抜く鋭い打球、それはそのまま右中間を転々としている（打たせて良かったなあ）。ライトとセンターがボールを取ろうと もたついている。ランナーは2塁を蹴った。ボールはまだ中継していない。打者走者は小さいが脚は早い？3塁の手前でランナーコーチは飛び跳ねながら腕を回す。ランナーはホームへ ボールも帰ってきた、ランナー滑り込むタッチできない。サヨナラホームラン?! 4 - 3で勝った。実はこの打者は朝の練習で急遽 スタメンに変更した選手であった。本来なら違う選手が名前を連ねていたのに、その子があまりにもマシンで空振りしていたので、今朝になって変えていた(^^)。

やっと一勝(笑: ショウ、ワラじゃないよ、よくメールで使うけど)。

準々決勝 11/10(土)対 桐生商業 Aコート

この試合のためにどれだけ準備をしてきたか!!! (この記号を見よ)。勝てばベスト4入り。そして東日本へ。さらに準決勝へ。相手は健大か? (その先は今の段階ではどうでも良い、本当に負けられない戦いがそこにある)。

そう ここで 東日本へ3校行ける種明かし講座と行こうか(^^)。

何故3校か? 今まで数回(群馬県チーム優勝)あったことだが、前年度の東日本で1部で優勝すると枠を一つ増やすことが出来る。つつやつ。いわゆる優勝枠だなあ。前年度に高崎商業が優勝していたので 今年はその三決をしなくても東日本へ行ける。ってこと。だから、大事なんだよ。

へえー そうゆーことか。そーいえば、先生は何だか いつも以上にしつこく言ってたな。だからか。そーなんですよ。分かればいいよ。

そーいえば、大会前は塩山へ泊まりで遠征（これも色々あったが・・・）。利根商戦後、日曜日は埼玉のお得意様：松山女子で細田とも練習試合（まずまずの内容）。そーいう準備をしてきたんだよ。

そして桐商戦です。それではスターティングメンバーの発表でーす。

育英

打順	守	名前	NO
	SS	須藤	8
	1B	波多	10
	CF	磯野	16
	DP	高橋	19
	RF	井田	4
	C	手島	23
	2B	吉山	3
	3B	桐生	2
	LF	関	12
FP	P	小板橋	18

桐生商

打順	守	名前	NO
	3B	北村	27
	SS	藤堂	10
	CF	新井	12
	2B	宮田	17
	1B	岸	26
	C	小倉	1
	LF	木戸	29
	RF	田島	22
	DP	星田	20
FP	P	木村	16

初回 育英 1番セカンドゴロ、2番四球、3番キャッチャーフライで1塁ランナー飛び出しゲッツー 痛い。

裏 先頭 叩かれピッチャーの頭を抜かれセンター前へ 進塁打と三振で2アウト2塁。4番にレフト前で1・3塁。5番センターフライでチェンジ あぶねー。

二回 先頭打者 見逃し三振。5番レフト前、6番ショートゴロでアウトかな?! オールセーフ。7番送って 2アウト2・3塁。8番サードのライン際でエラーを誘い まず1点、なおも 1・3塁で パスボールで2点目。 9番センター前で3点目が入り 3 - 0。

裏 桐商 三者凡退。

三回 四回 と1点ずつ入れて5 - 0。桐商はランナーを出ずも得点につながらず。

五回 育英 桐商 0点で 依然 5 - 0。

六回 育英 2番センター前へ 3番はライトオーバーのランニングHRで 7 - 0。

裏 桐商の打順は1番から点数を入れなければコールド成立。1番サードフライ1アウト。

2番セカンドゴロ 2アウト。3番ファウルで粘られるが、最後はピッチャーライナーで試合終了。終わってみれば6回 点差コールド。

次の日 準決勝 健大戦 これも因縁の対決だが 今回は「ロード トウ 東日本」だから その話しは また 次の機会にでも いやー。でも本当に良かった。